Console の組織を設定する

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

目次

Console の組織を設定する

フォルダーとフリートをNetApp Consoleのローカル展開組織に追加する

ビジネス構造に合わせてフォルダーとフリートを作成し、アクセスを制御し、NetApp Console ローカル展開でリソースを整理します。

必要なアクセスロール

スーパー管理者、組織管理者、フォルダ管理者、またはフリート管理者。"アクセスロールについて"。

NetApp Consoleのローカル展開では、組織を作成する際にデフォルトのフリートが1つ作成されます。フリートを追加して、フォルダでグループ化することができます。"NetApp Consoleのリソース階層について学ぶ"。

フォルダーとフリートを使用してリソースを整理する

フォルダーとフリートは、組織の構造をチームの実際の働き方に合わせて構築するために使用する2つの構成要素です。例えば、地域ごとに1つのフォルダを作成し、それぞれのフォルダ内に本番環境用と開発環境用のフリートを配置するといった具合です。

- フォルダは関連するフリートをグループ化し、委任された管理とロールの継承をサポートします。
- フリートとは、管理のためにリソースを関連付け、ユーザーに運用アクセス権を付与する方法です。

先にフォルダやフリートを作成し、後からリソースやメンバーのアクセス権を追加することができます。これにより、Console のローカルデプロイメントでユーザーやリソースを追加する前に、リソース階層を計画することができます。構造が既に定義されている場合は、フリートを作成する際にリソースを追加し、アクセス権を割り当てることができます。フリートはいつでも更新できます。

例えば、本番環境用のクラスターを本番環境用のフリートに、テスト環境用のクラスターをテスト環境用のフリートに配置し、各チームには自チームが所有するフリートへのアクセス権のみを付与します。

フォルダ

フォルダを使用すると、ビジネスユニット、地域、チームなどのビジネス構造ごとにフリートを整理できます。フォルダをネストして、組織を反映させることができます。

フォルダレベルで割り当てられた役割は、子フォルダおよびフリートに継承されます。フォルダを使用すると、階層構造のその部分を担当するフォルダ管理者またはフリート管理者に、フリート割り当てタスクを委任することもできます。

メンバーはフォルダ単位ではなく、フリート単位で作業を行います。フォルダのみに関連付けられたリソースは、フリートに関連付けられるまでメンバーによって管理できません。

例えば、地域企業はフォルダーを使用して、事業部門別およびワークロード別に ONTAP ストレージを整理できます。北米用のトップレベルフォルダー、本番環境および開発環境用のサブフォルダー、SAP、VMware、およびバックアップボリュームをホストする ONTAP クラスター用のフリートを作成することができます。北米フォルダーに割り当てられたストレージ管理者は、すべての子フリートへのアクセス権を継承しますが、アプリケーションチームは、自身が管理するフリートへのアクセス権のみを持ちます。

フリート

メンバーが管理できるように、リソースをフリートに関連付けます。フリートは、組織の直下またはフォルダ内に存在できます。

例えば、ある医療会社は、本番環境と開発環境の別々のフリートでONTAPストレージを使用しています。本番フリートはクリニカルアプリと電子カルテデータベースを実行し、開発フリートはテストと検証をサポートします。この分離により、ライブデータが保護され、本番環境へのアクセスがより厳格に管理され、監査可能性と最小権限の原則が確保されるとともに、開発チームは患者向けワークロードに影響を与えることなく作業を進めることができます。

ユーザーは「システム」ページで割り当てられたフリート間を移動し、各フリートに関連付けられたリソースを管理します。

フォルダーまたはフリートを追加する

リソースやメンバーのアクセスに関する新たな境界が必要な場合はいつでもフリートを追加し、関連するフリートをグループ化して管理を委任したい場合はフォルダを追加してください。例えば、 `Production`フォルダーに `Production-US-East`フリートと `Production-EU-West`フリートを追加し、そのフリートのみに対して、地域リーダーにフォルダーまたはフリート管理者ロールを割り当てます。

最大7階層まで作成できます。

フリートやフォルダを作成する際にリソースを追加したり、メンバーのアクセス権を割り当てたりすることができます。後から行うことも可能です。

手順

1. 「管理」＞「IDとアクセス」を選択してください。
2. **Organization** を選択します。
3. 「組織」ページから、「フォルダーまたはフリートの追加」を選択します。
4. 「フォルダー」または「フリート」を選択してください。
5. 名前と場所：フォルダまたはフリートの名前を入力し、場所を選択します。

1. オプション：*リソース*セクションを展開して、リソースをフリートまたはフォルダに関連付けます。
   a. 関連付けたいリソースの横にあるチェックボックスをオンにしてから、*フリートに関連付ける*を選択してください。Console のローカル展開にシステムをまだ追加していない場合は、この手順は後で行うことができます。

   > メンバーは、フォルダ内のリソースがフリートに割り当てられるまで、そのリソースにアクセスできません。

2. オプション：*アクセス*セクションを展開して、メンバーにアクセス権限を割り当てます。*メンバーを追加*を選択して、アクセス権と役割を割り当てます。デフォルトでは、フリートを作成したユーザーがそのフリートにアクセスできます。

   "アクセスロールについて".

3. *追加*を選択します。

フォルダまたはフリートの名前を変更する

必要に応じて、フォルダまたはフリートの名前を変更します。名前変更は、関連するリソースやメンバーのアクセス権には影響しません。

手順

1. 「組織」ページから、テーブル内のフリートまたはフォルダーに移動し、•••を選択してから、「フォルダーの編集」または「フリートの編集」を選択します。
2. 「編集」ページで、新しい名前を入力し、「適用」を選択します。

フォルダまたはフリートを削除する

チームの再編成後やフリートの完了後など、不要になったフォルダやフリートを削除します。

フォルダまたはフリートを削除する前に、以下のチェックを完了してください：

- フォルダまたはフリートにリソースが含まれていないことを確認してください。"リソースの関連付けを削除する方法を説明します"。
- フォルダまたはフリートへのアクセス権をまだ持っているメンバーを確認してください。"メンバーのアクセス権限の割り当てを表示する"。
- 必要に応じて、メンバーのアクセス権を削除または更新してください。"メンバーのアクセス権限の割り当てを変更する"。
- フリートを削除する場合は、まずリソースをターゲットフリートに移動してください。"フリート間でリソースを移動する方法を説明します"。

手順

1. 「組織」ページから、テーブル内のフリートまたはフォルダーに移動し、•••を選択してから「削除」を選択します。
2. フォルダまたはフリートを削除することを確認してください。

NetApp Console ローカル展開でフリートとフォルダーを管理する

初期設定後、以下の操作が可能です：

- フォルダとフリートのリソース関連付けを管理する："リソースをフリートやフォルダーに関連付ける方法について説明します。"
- **1**つのフォルダーまたはフリートのアクセス権を表示または更新する："ユーザーにフリートへのアクセス権を付与する方法について説明します。"
- 複数のフォルダとフリートにわたって**1**人のメンバーを管理する："メンバーアクセスの管理方法について説明します"
- メンバーを追加し、開始時の権限を割り当てます："メンバーと権限の管理方法について説明します"。

関連情報

- "NetApp Console のアイデンティティとアクセスについて"
- "NetApp Consoleでのアイデンティティとアクセス管理を開始する"

- "フリートアクセス割り当ての管理"
- "IDおよびアクセスAPIについて"

ストレージシステムを NetApp Console ローカル展開に追加する

ストレージ システムを NetApp Console ローカル展開に追加することで、ストレージ インフラストラクチャの監視、インベントリ管理、および管理が可能になります。ストレージ システムが追加されると、Console ローカル展開によってシステムが検出され、監視および管理タスクに使用できる情報の収集が開始されます。

開始する前に、ストレージ システムを追加するために必要な権限があること、およびストレージ システムが Console のローカル展開からアクセス可能であることを確認してください。

手順

1. 「ストレージ」>「管理」を選択します。
2. 「スコープ」ドロップダウンリストから、ストレージ システムを追加するフリートを選択します。
3. 「システムを追加」を選択します。
4. 接続情報や認証情報など、必要なストレージシステムの詳細を入力してください。
5. 入力した情報を確認し、*追加*を選択します。

   ストレージシステムが選択されたフリートに追加されます。Console のローカル展開により、システムの検出と監視が開始されます。環境やネットワーク接続状況によっては、システムが完全に管理対象として認識されるまでに数分かかる場合があります。

また、**[管理]** > **[IDとアクセス]** ページから **[システムの追加]** を選択し、必要なシステム情報を入力することで、ストレージ システムを追加することもできます。

フォルダーとフリート内のリソースを NetApp Console ローカル展開で管理する

リソースを適切なフォルダーまたはフリートに関連付けることで、NetApp Console のローカル展開におけるリソースアクセスを管理します。これにより、どのチームがリソースにアクセスして管理できるかを制御できます。

必要なアクセスロール

スーパー管理者、組織管理者、フォルダ管理者、またはフリート管理者。"アクセスロールについて"。

適切なチームが管理できる場所にリソースを配置し、所有権が変更された場合は移動させ、不要になった場合は関連付けを解除します。

リソースとは、Console のローカル展開で認識されるエンティティのことで、ストレージリソースやバックアップおよびリカバリワークロードなどが含まれます。

コンソールリソースタイプ

コンソールのローカル展開は、ストレージリソースとバックアップおよびリカバリワークロードの両方をサポートします。アクセスと管理を制御するために、いずれかのリソースタイプをフリートに関連付けます。

ストレージリソース

ストレージリソースは、組織内で最も一般的なリソースの種類です。Console のローカル展開にストレージシステムを追加する場合は、適切なチームがアクセスして管理できるように、フリートに関連付けてください。たとえば、ONTAP クラスターを追加した後、 `Production-US-East`フリートに関連付けてください。

バックアップおよびリカバリのワークロード

バックアップおよびリカバリのワークロードもリソースとみなされます。バックアップおよびリカバリワークロードをフリートに関連付けることで、メンバーにこれらのワークロードへのアクセス権限を割り当てることができます。例えば、メンバーがアクセスできるフリートにバックアップおよびリカバリワークロードを関連付け、適切なバックアップおよびリカバリロールを付与することで、そのメンバーにバックアップおよびリカバリワークロードへのアクセス権を割り当てることができます。

組織内のリソースを表示する

組織内のリソースを表示して、特定のリソースを見つけ、それがどのフリートまたはフォルダーに関連付けられているかを確認します。フォルダやフリートを作成していない場合、すべてのリソースは組織直下のデフォルトフリートに関連付けられます。

手順

1. 「管理」＞「IDとアクセス」を選択してください。
2. 「リソース」を選択します。
3. 「高度な検索とフィルタリング」を選択します。
4. 利用可能なオプションを使用してリソースを検索します。
   - リソース名で検索：テキスト文字列を入力し、*追加*を選択します。
   - プラットフォーム：Amazon Web Servicesなど、1つ以上のプラットフォームを選択してください。
   - リソース：Cloud Volumes ONTAP など、1つ以上のリソースを選択してください。
   - 組織、フォルダ、またはフリート：組織全体、特定のフォルダ、または特定のフリートを選択します。
5. 「検索」を選択します。

リソースをフォルダーまたはフリートに関連付ける

適切なチームが管理できるように、リソースをフリートまたはフォルダに関連付けます。例えば、ONTAPクラスターを追加した後、 `Production-US-East`フリートに関連付けることで、そのフリートの地域ストレージ管理者が管理できるようになります。

組織管理者ロールを持つユーザーは、フォルダーにリソースを追加することで、そのフォルダーのフォルダー管理者またはフリート管理者にフリート関連付けタスクを委任できます。"リソースをフォルダーに関連付ける"。

手順

1. 「リソース」ページから、表内のリソースに移動し、•••を選択してから、「フォルダーまたはフリートに関連付ける」を選択します。
2. フォルダまたはフリートを選択し、次に*Accept*を選択します。
3. 追加のフォルダーまたはフリートを関連付けるには、*フォルダーまたはフリートの追加*を選択し、フォルダーまたはフリートを選択します。

   管理者権限を持つフォルダーとフリートのみを選択できます。

4. 「リソースを関連付ける」を選択します。
   - リソースをフリートに関連付けた場合、そのフリートに対する権限を持つメンバーは、Console からリソースにアクセスできるようになります。
   - リソースをフォルダーに関連付けた場合、_フォルダーまたはフリート管理者_は、そのリソースにアクセスして、フォルダー内のフリートに関連付けることができるようになります。"リソースをフォルダーに関連付ける"。

リソースに関連付けられているフォルダーとフリートを表示する

リソースがどのフリートまたはフォルダーに関連付けられているかを確認します。

リソースへのアクセス権を持つメンバーを確認するには、関連するフォルダーまたはフリートに割り当てられているメンバーを確認してください。"フリートアクセス割り当ての管理"。

手順

1. 「リソース」ページから、表内のリソースに移動し、•••を選択して、「詳細を表示」を選択します。

以下の例は、1つのフリートに関連付けられたリソースを示しています。

リソースへのアクセス権を持つメンバーを確認するには、関連するフォルダまたはフリートを確認してください。

"フリートアクセス割り当ての管理"."メンバーアクセスを管理する".

フォルダーまたはフリートからリソースを削除する

リソースとフォルダまたはフリートの関連付けを解除することで、メンバーがそこでリソースを管理できないようにします。

組織全体からストレージシステムを削除するには、**Systems** ページに移動してシステムを削除します。

手順

1. 「リソース」ページから、表内のリソースに移動し、•••を選択して、「詳細を表示」を選択します。
2. フォルダーまたはフリートからリソースを削除するには、フォルダーまたはフリートの横にある を選択します。
3. 関連付けを解除するには、*削除*を選択してください。

フリート間でリソースを移動する

リソースをあるフリートから別のフリートに移動するには、現在のフリートとの関連付けを解除してから、対象のフリートに関連付けます。

関連付けが変更されると、リソースへのアクセス権もすぐに変更されます。可能であれば、両方の手順を1回のメンテナンス時間内に完了してください。

手順

1. 「リソース」ページから、表内のリソースに移動し、•••を選択して、「詳細を表示」を選択します。
2. 現在のフリートの横にある を選択し、*削除*を選択します。
3. 「フォルダーまたはフリートを追加」を選択します。
4. 対象のフリートを選択し、**Accept** を選択します。
5. 「リソースを関連付ける」を選択します。

関連情報

- "NetApp Console のアイデンティティとアクセスについて"
- "NetApp Consoleでのアイデンティティとアクセス管理を開始する"
- "リソース移動後のフリートアクセス割り当てを管理する"
- "IDとアクセス管理のAPIについて"

メンバーを NetApp Console ローカル展開組織に追加する

メンバーを NetApp Console のローカル展開組織に追加し、ユーザー、サービスアカウント、ディレクトリユーザーに対して、組織、フォルダ、またはフリートレベルでのアクセス権を付与するロールを割り当てます。

必要なアクセスロール

スーパー管理者、組織管理者、またはフォルダ管理者もしくはフリート管理者（管理対象のフォルダおよびフリートの場合）。"アクセスロールについて"。

開始する前に

- 組織に合ったフォルダとフリートの階層構造を作成してください。"フォルダとフリートを使ってリソースを整理する方法を説明します。"。
- メンバーのアクセス権を割り当てる前に、リソースを適切なフリートに関連付けてください。"フォルダとフリート内のリソースを管理する方法について説明します。"。
- ディレクトリユーザーを追加する場合は、まずディレクトリサービスを統合してください。"ディレクトリサービスとの統合方法をご確認ください"。

NetApp Console ローカル展開におけるアクセス許可の仕組みを理解する

NetApp Console はロールベースアクセス制御（RBAC）を使用して権限を管理します。必要なアクセス権限を付与するために、メンバーにロールを割り当ててください。各ロールは、特定のリソースに対して許可される操作を定義します。

NetApp Console ローカル展開でのアクセス許可に関する注意事項：

- ユーザーがリソースにアクセスするには、各ユーザーを組織に明示的に追加し、少なくとも1つのロールを割り当てる必要があります。
- 組織レベルまたはフォルダレベルで割り当てた役割は子スコープに継承されるため、メンバーが必要な場所でのみアクセスできるように、割り当てスコープを慎重に選択してください。"NetApp Console ローカル展開におけるロール継承について"。

組織にメンバーを追加する

NetApp Console は、ユーザーアカウント、ディレクトリユーザー、サービスアカウントの3種類のメンバーをサポートしています。

ユーザーを追加する前に、Console のローカル展開で使用するメールサーバーを最初に設定する必要があります。"メールサーバーの設定方法について説明します。"

ディレクトリユーザーは統合ディレクトリサービスを通じて認証されますが、Console のローカル展開では、各ディレクトリユーザーを個別に追加し、ロールを割り当てる必要があります。Console でサービスアカウントを直接作成します。

Console のローカル展開にアクセスするには、すべてのメンバーに少なくとも1つのロールが明示的に割り当てられている必要があります。

メンバーを追加する際は、メンバーがアクセスする必要のある組織、フォルダー、またはフリートを選択し、必要な初期ロールを割り当ててください。

ユーザーアカウントを追加する

組織、フォルダ、またはフリートにユーザーを追加してリソースにアクセスできるようにするには、組織管理者、フォルダ管理者、またはフリート管理者のいずれかの役割を持っている必要があります。

手順

1. 「管理」＞「IDとアクセス」を選択してください。
2. 「メンバー」を選択します。

3. 「メンバーを追加」を選択します。
4. *メンバータイプ*については、*ユーザー*を選択したままにしてください。
5. 「ユーザーのメールアドレス」には、ユーザーが作成したログインに関連付けられているメールアドレスを入力してください。
6. 「組織、フォルダ、またはフリートを選択」セクションを使用して、メンバーがアクセスする必要がある場所を選択します。

   次の点に注意してください。

   - 権限のあるフォルダーとフリートのみを選択できます。
   - 組織またはフォルダを選択すると、そのメンバーにそのすべてのコンテンツへのアクセス権限が付与されます。
   - 組織管理者ロールは、組織レベルでのみ割り当てることができます。
7. *カテゴリを選択*してから、選択した組織、フォルダー、またはフリートに対してメンバーに必要な初期権限を付与する*ロール*を選択してください。

   "アクセスロールについて".
8. より多くのフォルダー、フリート、またはロールへのアクセス権を付与するには、ロールの追加 を選択し、フォルダー、フリート、またはロールのカテゴリを選択して、ロールを選択します。
9. *追加*を選択します。

   コンソールはユーザーに指示をメールで送信します。

サービスアカウントを追加する

タスクを自動化したり、Console APIに安全に接続したりする必要がある場合は、サービスアカウントを追加してください。アカウントを作成したら、そのクライアントIDとクライアントシークレットをコピーして、使用する連携機能に渡してください。

手順

1. 「管理」＞「IDとアクセス」を選択してください。
2. 「メンバー」を選択します。
3. 「メンバーを追加」を選択します。
4. 「メンバータイプ」には「サービスアカウント」を選択してください。
5. サービスアカウントの名前を入力してください。
6. 「組織、フォルダ、またはフリートを選択」セクションを使用して、サービスアカウントがアクセスする必要がある場所を選択します。

   次の点に注意してください。

   - 権限のあるフォルダーとフリートのみを選択できます。
   - 組織またはフォルダを選択すると、メンバーはその組織またはフォルダ内のすべてのコンテンツに対する権限が付与されます。

- 組織管理者ロールは、組織レベルでのみ割り当てることができます。

7. 「カテゴリ」を選択し、次に、選択した組織、フォルダー、またはフリートに対してサービスアカウントに必要な初期権限を付与する「ロール」を選択します。

   "アクセスロールについて".

8. より多くのフォルダー、フリート、またはロールへのアクセス権を付与するには、ロールの追加 を選択し、フォルダー、フリート、またはロールのカテゴリを選択して、ロールを選択します。
9. クライアントIDとクライアントシークレットをダウンロードまたはコピーしてください。

   コンソールにはクライアントシークレットが一度だけ表示されます。安全な場所にコピーしておいてください。紛失しても後で再作成できます。

10. 「閉じる」を選択します。

組織にディレクトリユーザーを追加する

統合ディレクトリサービスからユーザーを追加し、最初のロールを付与します。例えば、Active Directory から新しいストレージエンジニアを追加し、 `Production-US-East`フリートでストレージ管理者ロールを割り当てることで、そのフリートで作業できるようにします。

ディレクトリユーザーを追加するには、まずディレクトリサービスを設定する必要があります。"ディレクトリサービスとの統合方法をご確認ください"。

手順

1. 「管理」＞「IDとアクセス」を選択してください。
2. 「メンバー」を選択します。
3. 「メンバーを追加」を選択します。
4. 「メンバータイプ」には「ディレクトリユーザー」を選択してください。
5. 「ユーザーのメールアドレス」には、追加したいディレクトリユーザーのメールアドレスを入力してください。このメールアドレスは、ディレクトリ内でユーザーのログインに関連付けられているメールアドレスと一致している必要があります。
6. 「組織、フォルダ、またはフリートを選択」セクションを使用して、ディレクトリユーザーがアクセスする必要がある場所を選択します。

   次の点に注意してください。

   - 権限のあるフォルダーとフリートのみを選択できます。
   - 組織またはフォルダを選択すると、メンバーはその組織またはフォルダ内のすべてのコンテンツに対する権限が付与されます。
   - 組織管理者ロールは、組織レベルでのみ割り当てることができます。

7. *カテゴリ*を選択し、次に*役割*を選択して、選択した組織、フォルダー、またはフリートに対してディレクトリユーザーが必要とする初期権限を付与します。

   "アクセスロールについて".

8. ユーザーに他のフォルダー、フリート、またはロールへの追加アクセス権を付与するには、「ロールの追

加」を選択し、フォルダーまたはフリート、ロールのカテゴリを選択して、ロールを選択します。

アクセスロール

NetApp Console ローカル展開アクセスロール

NetApp Consoleのローカル展開におけるIDとアクセス管理（IAM）では、リソース階層のさまざまなレベルにわたって組織のメンバーに割り当てることができる事前定義されたロールが提供されます。これらのロールを割り当てる前に、各ロールに含まれる権限を理解しておく必要があります。ロールは、プラットフォーム、アプリケーション、データ サービスのカテゴリに分類されます。

プラットフォームロール

プラットフォームロールは、NetApp Console のローカル展開管理権限（ロールの割り当てやユーザー管理を含む）を付与します。Console のローカル展開には、複数のプラットフォームロールがあります。

プラットフォームの役割	責任
"組織管理者"	組織内のすべてのフリートとフォルダへの無制限のアクセス、任意のフリートまたはフォルダへのメンバーの追加、明示的なロールが関連付けられていない任意のタスクの実行、および任意のデータサービスの使用をユーザーに許可します。このロールを持つユーザーは、適切な認証情報があれば、フォルダとフリートの作成、ロールの割り当て、ユーザーの追加、システムの管理などによって組織を管理できます。
"フォルダまたはフリート管理者"	割り当てられたフリートとフォルダーへの無制限のアクセスをユーザーに許可します。管理するフォルダーやフリートにメンバーを追加できるほか、割り当てられたフォルダーやフリート内のリソースに対して、あらゆるタスクを実行したり、あらゆるデータサービスやアプリケーションを使用したりすることができます。
"フェデレーション管理者"	ユーザーが Console を使用してディレクトリサービスフェデレーションを作成および管理できるようにすることで、ユーザーは既存のディレクトリ認証情報を使用して認証を行うことができます。
"フェデレーションビューアー"	コンソールを使用して、既存のディレクトリサービス連携を表示できるようにします。フェデレーションを作成または管理できません。
"スーパー管理者"	ユーザーにすべての管理者権限を付与します。この役割は、Console関連の責任を複数のユーザーに分散させる必要がない小規模な組織向けに設計されています。
"スーパービューアー"	ユーザーにすべての閲覧者ロールを付与します。このロール は、Console の責任を複数のユーザーに分散させる必要がない小規模な組織向けに設計されています。

アプリケーションの役割

以下は、アプリケーションカテゴリにおける役割の一覧です。各役割は、指定された範囲内で特定の権限を付与します。必要なアプリケーションまたはプラットフォームロールを持たないユーザーは、該当するアプリケーションにアクセスできません。

アプリケーションロール	責任
"オペレーションサポートアナリスト"	監査ページなどのアラートおよび監視ツールへのアクセスを提供します。
"Storage Admin"	ストレージの健全性およびガバナンス機能の管理、ストレージリソースの検出、既存システムの変更および削除を行います。
"ストレージビューア"	ストレージの状態とガバナンス機能を表示するほか、以前に検出されたストレージリソースも表示します。既存のストレージシステムを検出、変更、または削除することはできません。
"システムヘルススペシャリスト"	ストレージ、健全性、ガバナンス機能の管理。ストレージ管理者のすべての権限を持ちますが、既存のシステムを変更または削除することはできません。

データサービスロール

以下は、データサービスカテゴリにおける役割の一覧です。各役割は、指定された範囲内で特定の権限を付与します。必要なデータサービスロールまたはプラットフォームロールを持たないユーザーは、データサービスにアクセスできません。

データサービスの役割	責任
"バックアップとリカバリのスーパー管理者"	NetApp Backup and Recoveryで任意のアクションを実行します。
"バックアップとリカバリの管理者"	ローカルスナップショットへのバックアップ、セカンダリストレージへのレプリケーション、およびオブジェクトストレージへのバックアップを実行します。
"バックアップとリカバリ復元管理者"	バックアップとリカバリでワークロードを復元します。
"バックアップとリカバリクローン管理者"	バックアップとリカバリでアプリケーションとデータをクローニングします。
"バックアップおよびリカバリビューアー"	バックアップと復元に関する情報を表示します。
分類ビューア	ユーザーがNetApp Data Classificationスキャン結果を表示できるようにします。このロールを持つユーザーは、コンプライアンス情報を表示し、アクセス権限を持つリソースのレポートを生成できます。これらのユーザーは、ボリューム、バケット、またはデータベーススキーマのスキャンを有効または無効にすることはできません。Data Classificationには管理者ロールがありません。
SnapCenter 管理者	アプリケーション向けNetApp Backup and Recoveryを使用して、オンプレミスのONTAPクラスターからスナップショットをバックアップする機能を提供します。このロールを持つメンバーは、次のアクションを実行できます。 * 「Backup and Recovery」＞「Applications」のすべてのアクションを実行する * 権限を持つフリートおよびフォルダー内のすべてのシステムを管理する * すべてのNetApp Consoleサービスを使用する SnapCenterにはビューア ロールはありません。

関連リンク

- "NetApp Console の ID とアクセス管理について説明します"
- "NetApp Consoleでのアイデンティティとアクセス管理を開始する"
- "NetApp Console 組織でメンバーを追加してロールを割り当てる"
- "NetApp Console IAM の API について"

NetApp Console ローカル展開プラットフォームのアクセスロール

プラットフォームロールをユーザーに割り当てて、NetApp Console のローカル展開の管理、ロールの割り当て、ユーザーの追加、フリートの作成、およびユーザ認証の管理に関する権限を付与します。

大規模多国籍企業における組織内役割の例

XYZ Corporationはデータのストレージ アクセスを地域別（北米、ヨーロッパ、アジア太平洋）に整理し、地域ごとの統制と一元的な監視体制を両立させています。

XYZ Corporation の Console ローカル展開における **Organization admin** は、初期組織と各地域ごとに個別のフォルダを作成します。各地域の **Folder or fleet admin** は、その地域のフォルダ内にフリート（および関連するリソース）を整理します。

Folder or fleet admin の役割を持つ地域管理者は、リソースやユーザーを追加することで、フォルダーを積極的に管理します。これらの地域管理者は、管理するフォルダやフリートを追加、削除、または名前変更することもできます。**Organization admin** は、新しいリソースに対する権限を継承し、組織全体におけるストレージ使用状況の可視性を維持します。

同一組織内では、1人のユーザーに **Federation admin** の役割が割り当てられ、組織と所属企業の IdP とのフェデレーションを管理します。このユーザーは、フェデレーション組織を追加または削除することはできますが、組織内のユーザーやリソースを管理することはできません。**Organization admin** は、フェデレーションの状態を確認したり、フェデレーションに参加している組織を表示したりするために、ユーザーに **Federation viewer** の役割を割り当てます。

以下の表は、各 Console ローカル展開プラットフォームロールが実行できるアクションを示しています。

組織管理の役割

Task	組織管理者	フォルダまたはフリート管理者
コンソールのローカル展開環境からシステムを作成、変更、または削除します（システムの追加または検出）	はい	はい
フォルダーとフリートの作成、削除を含む	はい	×
既存のフォルダとフリートの名前を変更する	はい	はい
役割を割り当ててユーザーを追加する	はい	はい
リソースをフォルダーとフリートに関連付ける	はい	はい
サポートへの登録およびコンソールからのケースの送信	はい	はい

Task	組織管理者	フォルダまたはフリート管理者
明示的なアクセスロールに関連付けられていないデータサービスを使用する	はい	はい
監査ページと通知を表示する	はい	はい

フェデレーションロール

Task	フェデレーション管理者	フェデレーションビューアー
ディレクトリサービス統合の作成と更新	はい	×
フェデレーションとその詳細を表示する	はい	はい

スーパー管理者と閲覧者の役割

Super admin ロールは、Console 機能、ストレージ、およびデータサービスを管理するための完全なアクセス権を提供します。このロールは、管理運営やガバナンスを監督する方に適しています。一方、**Super viewer** ロールは読み取り専用アクセスを提供し、変更を加えることなく可視性を必要とする監査担当者や関係者に最適です。

組織は、セキュリティリスクを最小限に抑え、最小権限の原則に沿うために、**Super admin** アクセスの使用を控えめにすべきです。ほとんどの組織は、リスクを軽減し監査性を向上させるために、必要な権限のみを持つきめ細かなロールを割り当てるべきです。

スーパーロールの例

ABC Corporation には5人の小規模なチームがあり、データサービスおよびストレージ管理のために NetApp Console を活用しています。複数の役割を分担する代わりに、ユーザー管理やリソース構成を含むすべての管理業務を担当する2人の上級チームメンバーに **Super admin** ロールを割り当てています。残りの3人のチームメンバーには **Super viewer** ロールが割り当てられており、設定を変更する権限なしにストレージの状態とデータサービスのステータスを監視できます。

ロール	継承されたロール
スーパー管理者	• 組織管理者 • フォルダまたはフリート管理者 • バックアップとリカバリのスーパー管理者 • Storage Admin
スーパービューアー	• 組織ビューア • バックアップビューアー • ストレージビューア

NetApp Console ローカル展開における運用サポートアナリストのアクセスロール

NetApp Console のローカル展開では、ユーザーに運用サポートアナリストのロールを割り当てることで、アラートおよび監視へのアクセス権限を付与できます。

運用支援アナリスト

Task	実行可能
ストレージシステムを表示する	はい
監査ページと通知を表示する	はい
アラートの表示、ダウンロード、および設定	はい

NetApp Console ローカル展開のストレージアクセスロール

ユーザーに NetApp Console ローカル展開のストレージ管理機能へのアクセス権限を付与するには、次のロールを割り当てることができます。ユーザーには、ストレージを管理するための管理者ロール、または監視のための閲覧者ロールを割り当てることができます。

管理者は、以下のストレージリソースおよび機能に対して、ユーザーにストレージロールを割り当てることができます。

ストレージリソース：

- オンプレミス ONTAP クラスター

コンソールサービスと機能：

- ストレージの健全性機能

NetApp Console ローカル展開におけるストレージロールの例

多国籍企業であるXYZ Corporation は、ストレージエンジニアとストレージ管理者からなる大規模なチームを擁しています。これにより、このチームは担当地域のストレージ資産を管理できる一方で、ユーザー管理やライセンス管理といった Console のコアなローカル展開タスクへのアクセスを制限することができます。

12人のチーム内で、2人のユーザーに **Storage viewer** ロールが付与され、割り当てられた Console ローカル展開フリートに関連付けられたストレージリソースを監視できるようになります。残りの9名には **Storage admin** ロールが付与されます。このロールには、ソフトウェアアップデートの管理、Console ローカル展開を通じた ONTAP System Manager へのアクセス、およびストレージリソースの検出（システムの追加）が含まれます。チームのメンバーのうち1名に **System health specialist** ロールが割り当てられ、担当地域のストレージリソースの健全性を管理できますが、システムの変更や削除はできません。この担当者は、割り当てられたフリートのストレージリソースに対してソフトウェアアップデートを実行することもできます。

組織には、ユーザー管理やライセンス管理など、Console のローカル展開のあらゆる側面を管理できる **Organization admin** ロールを持つユーザーが2名、および割り当てられたフォルダやフリートの Console のローカル展開管理タスクを実行できる **Folder or fleet admin** ロールを持つユーザーが複数います。

以下の表は、各ストレージロールが実行するアクションを示しています。

機能とアクション	Storage Admin	システムヘルススペシャリスト	ストレージビューア
ストレージ管理：			
新しいリソースを見つける（システムを追加する）	はい	はい	×
追加されたシステムを表示	はい	はい	×
コンソールからシステムを削除する	はい	×	×
システムを変更する	はい	×	×
システム マネージャ アクセス			
認証情報を入力できます	はい	はい	×

NetApp Backup and Recovery の役割（NetApp Console ローカル展開）

NetApp Console ローカル展開では、ユーザーに次のロールを割り当てて、Console 内の NetApp Backup and Recovery へのアクセス権を付与することができます。Backup and Recovery のロールを使用すると、組織内でユーザーが実行する必要のあるタスクに特化したロールを柔軟に割り当てることができます。ロールの割り当て方法は、お客様のビジネス慣行およびストレージ管理方法によって異なります。

このサービスは、NetApp Backup and Recovery に固有の次のロールを使用します。

- バックアップおよびリカバリのスーパー管理者：NetApp Backup and Recoveryですべてのアクションを実行します。
- バックアップとリカバリバックアップ管理者: ローカルスナップショットへのバックアップ、セカンダリストレージへのレプリケーション、NetApp Backup and Recovery でのオブジェクトストレージへのバックアップアクションを実行します。
- バックアップとリカバリ復元管理者：NetApp Backup and Recovery を使用してワークロードを復元します。
- バックアップとリカバリクローン管理者：NetApp Backup and Recovery を使用してアプリケーションとデータをクローニングします。
- バックアップおよびリカバリビューア：NetApp Backup and Recoveryの情報を表示できますが、アクションは実行できません。

すべての NetApp Console アクセスロールの詳細については、 "コンソールのセットアップと管理に関するドキュメント"を参照してください。

一般的なアクションに使用されるロール

以下の表は、各 NetApp Backup and Recovery ロールがすべてのワークロードに対して実行できるアクションを示しています。

機能とアクション	バックアップとリカバリのスーパー管理者	バックアップとリカバリバックアップ管理者	バックアップとリカバリ復元管理者	バックアップとリカバリクローン管理者	バックアップおよびリカバリビューアー
ホストの追加、編集、または削除	はい	×	×	×	×
プラグインをインストールする	はい	×	×	×	×
認証情報を追加する（ホスト、インスタンス、vCenter）	はい	×	×	×	×
ダッシュボードとすべてのタブを表示する	はい	はい	はい	はい	はい
無料トライアルを開始する	はい	×	×	×	×
ワークロードの検出を開始する	×	はい	はい	はい	×
ライセンス情報を表示する	はい	はい	はい	はい	はい
ライセンスを有効化する	はい	×	×	×	×
ホストを表示	はい	はい	はい	はい	はい
スケジュール：					
スケジュールをアクティブ化	はい	はい	はい	はい	×
スケジュールを中断	はい	はい	はい	はい	×
ポリシーと保護：					
保護プランを表示する	はい	はい	はい	はい	はい
保護プランの作成、変更、または削除	はい	はい	×	×	×
ワークロードを復元する	はい	×	はい	×	×
クローンを作成、分割、または削除する	はい	×	×	はい	×
ポリシーの作成、変更、または削除	はい	はい	×	×	×
レポート：					
レポートを表示する	はい	はい	はい	はい	はい

機能とアクション	バックアップとリカバリのスーパー管理者	バックアップとリカバリバックアップ管理者	バックアップとリカバリ復元管理者	バックアップとリカバリクローン管理者	バックアップおよびリカバリビューアー
レポートを作成する	はい	はい	はい	はい	×
レポートを削除する	はい	×	×	×	×
SnapCenter からインポートしてホストを管理：					
インポートされた SnapCenter データを表示	はい	はい	はい	はい	はい
SnapCenter からデータをインポートする	はい	はい	×	×	×
ホストの管理（移行）	はい	はい	×	×	×
設定の構成：					
ログ ディレクトリを設定	はい	はい	はい	×	×
インスタンス認証情報の関連付けまたは削除	はい	はい	はい	×	×
バケット：					
バケットを表示	はい	はい	はい	はい	はい
バケットの作成、編集、または削除	はい	はい	×	×	×

ワークロード固有のアクションに使用される役割

以下の表は、各 NetApp Backup and Recovery ロールが特定のワークロードに対して実行できるアクションを示しています。

Kubernetesワークロード

この表は、各 NetApp Backup and Recovery ロールが Kubernetes ワークロード固有のアクションに対して実行できる操作を示しています。

機能とアクション	バックアップとリカバリのスーパー管理者	バックアップとリカバリ バックアップ管理者	バックアップとリカバリ復元管理者	バックアップおよびリカバリビューアー
クラスター、ネームスペース、ストレージクラス、およびAPIリソースを表示する	はい	はい	はい	はい
新しいKubernetesクラスターを追加する	はい	はい	×	×
クラスタ構成を更新する	はい	×	×	×
管理からクラスターを削除する	はい	×	×	×
アプリケーションを表示する	はい	はい	はい	はい
新しいアプリケーションを作成して定義する	はい	はい	×	×
アプリケーション構成を更新する	はい	はい	×	×
管理からアプリケーションを削除する	はい	はい	×	×
保護されたリソースとバックアップの状態を表示する	はい	はい	はい	はい
バックアップを作成し、ポリシーを使用してアプリケーションを保護します	はい	はい	×	×
アプリの保護を解除し、バックアップを削除する	はい	はい	×	×
リカバリポイントとリソースビューアの結果を表示する	はい	はい	はい	はい
復元ポイントからアプリケーションを復元する	はい	×	はい	×
Kubernetesのバックアップポリシーを表示する	はい	はい	はい	はい
Kubernetesのバックアップポリシーを作成する	はい	はい	はい	×
バックアップポリシーを更新する	はい	はい	はい	×
バックアップポリシーを削除する	はい	はい	はい	×

機能とアクション	バックアップとリカバリのスーパー管理者	バックアップとリカバリ バックアップ管理者	バックアップとリカバリ復元管理者	バックアップおよびリカバリビューアー
実行フックとフックソースを表示する	はい	はい	はい	はい
実行フックとフックソースを作成する	はい	はい	はい	×
実行フックとフックソースを更新する	はい	はい	はい	×
実行フックとフックソースを削除する	はい	はい	はい	×
実行フックテンプレートを表示する	はい	はい	はい	はい
実行フックテンプレートを作成する	はい	はい	はい	×
実行フックテンプレートを更新する	はい	はい	はい	×
実行フックテンプレートを削除する	はい	はい	はい	×
ワークロードの概要と分析ダッシュボードを表示する	はい	はい	はい	はい
StorageGRID バケットとストレージターゲットの表示	はい	はい	はい	はい